

プリズム

一筋の光を七色の虹に変える、人は皆プリズム

フォト部門

本当の気持ちに出会う時基金 大賞作品

アート部門



黙々と…



くじゃく

CONTENTS

- 表紙 本当の気持ちに出会う時基金 受賞作品
- P2, 3 きらりびと
- P4 お心主義実践日記
- P5 特集 ~みんなちがってみんないいのだ!!! 明星学園~
- P6 スタジオパレット
- P7 こちら明星学園通り一丁目
- P8 輪・和・わ! インフォメーション

表紙写真紹介

たくさんの応募の中から、「本当の気持ちに出会うとき基金」フォト部門・アート部門の令和4年度大賞作品が決定しました。フォト部門（職員対象）では、普段見せない「集中」の表情を捉えた一瞬が評価されています。アート部門（メンバー対象）では、日常的に描いている絵よりも断然伸びやかな色使いが評価されています。

きらりびと

「変わっていく私
～仕事を辞めて自由に
優しい人へ～」
Hさんの紹介。



むかしからずっと農作業や掃除、洗濯といろいろな仕事や作業をがんばってきました。がんばって、良い子でないと嫌われちゃうし、自分の居場所がなくなっちゃう気がしていたの。でも、がんばらなくてもいいんだよ、良い子じゃなくても嫌いになったりしないよって、みんなが言ってくれて、私らしく過ごしてもいいのかなって思えて、ずっと続けてきた仕事を卒業しました。



できた野菜や果物は、みんなにおすそ分けします。

こんなに大きなメロンが育ちました。



自分で作る野菜を決めて、楽しく育てています。



やりたくない仕事もやらなきゃいけないって、頑張らなきゃいけないって思った。私だって頑張っているんだから周りもしっかりしてよね！って、強い言葉になっちゃっていたけど、仕事をやめてから、私も好きな事していいのかなって思えて、なんだか自分にも人にも優しくなれた気がします。



私の部屋、かわいくて素敵でしょう？
毎日職員さんと一緒に部屋でのんびりお話するのを楽しみにしているよ♪

私の部屋には冷蔵庫があるよ。食べたい時に好きなものが食べられるよ。



仲間と一緒に焼肉をしました！
楽しかった！！お肉おいしかった。
次は誰と一緒に何をしようかな♪

伴走者の声

若い頃から誰よりも働き頑張ってきた H さん。年齢を重ね、周りのメンバーさんが仕事を辞めていく中、「働かなければいけない」という強い思いに縛られた H さんだけはなかなか仕事を辞めることはできませんでした。本当はもう辞めたいけれど辞められず、イライラしてしまうこともありましたが、やっと「辞めてもいいのかな？」と言え、仕事を卒業したことで、H さんはどんどん穏やかで優しい人になっていきました。そんな H さんの自分らしい人生は始まったばかりです！！これからも H さんらしい生活をみんなで応援していきたいです。

(虹組 廣瀬美香)

「本当はかわいいものが好き ~やっと言えたんだよ~」 Mさんの紹介



何年か前に肺炎で入院することになったMさん。退院後すっかり病人気分になってしまって、居室で過ごす時間が増えてしまいました。昨年はそんなMさんが、元気で前のようにフロアで過ごせるようにするにはどうしたらよいか?ということを考えながら支援を行ってきました。



彼にとって「おにぎり」は、魔法の力があり、エネルギーのもとです。食べると、なぜか元気になります。



病気気分にならないようにと、パジャマに見えるスウェットのような服は片づけて、お出かけの服を増やしてみてもどうか?ということスウェット・ジャージ類の服は片づけおしゃれ着を増やしてみました。



年2回の、妹さんと一緒にお墓参りに行く事は、妹さんとの大事な行事ですよ。



お洒落な服買ってもらい、フロアに行くと「似合うね」って言ってもらってうれしかった。毎月ドライブにも行けて、外の空気を吸うことができ「私は病人では無く、元気になったんだ」って思えたよ。



毎日職員と折り紙折ってます。

かわいいシーツ・ぬいぐるみと共に、寝ています。初めて買う時には大決心でした。折り紙を作品にして居室に飾りました。



伴走者の声

発信が小さなMさん。入院・コロナ禍と過ごす中で、病人気分が抜けず、居室で過ごすことが多かったのですが、お出かけ気分だけでも感じられる服装・環境にすることで、皆と過ごす時間が多くなりました。昼間はフロアで過ごし、夜は自分で選んだシーツとぬいぐるみに囲まれ寝ています。これからも自分の選択したことに自信をもってもらえるように、職員もたくさんポジティブメッセージを伝えていきます。部屋も服も、もっと「かわいく」していこうね。(雪組 小笠原清美)



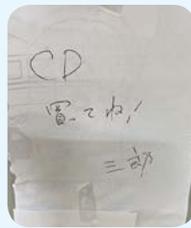
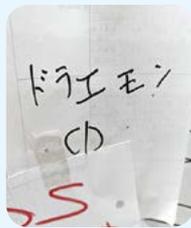
つむぐ お心主義実践日記

生活支援員
虹組 小林秀太

～こんな勇気を 見習いたい！！～

去年から担任をさせてもらっているSさん。今年も担任をさせていただくことになりました。Sさんは発語がある方でコミュニケーションをとりやすい方と思われがちなのですが、本当は自分のお願い事を直接、担任には頼めない人です。

そんな中でSさんがしたことは紙に自分のしたい事や買いたい物を書いて、担任のロッカーに貼っていくということでした。私たちにしてみれば大したことのないお願い事もSさんにはハードルが高いようで、他の職員に協力をしてもらいながら紙に希望を書いてもらったものを貼ったり、時には自分で絵を描いて貼っていくので、私のロッカーだけはSさんからの貼り紙でいっぱいになってしまいます。他の職員に書いてもらうお願いは「CD買って欲しい」「ドラえもんのDVD」「ズボン買って」などで、自分では絵を描き、こんな風に伝えてくれます。



ある日、お願い事の相談をしているとタブレットが欲しいと希望があり購入してみました。今まではCDプレイヤーやDVDプレイヤー、CD,DVDのディスク等を壊してしまう人でしたので、タブレットも壊れてしまうんじゃないかと心配していましたが、そんなことはなく今も使用できています。

すると突然、明星学園自治会「しらかば会」の会長選に立候補したのです。本人の「しらかば会」の会長イメージはみんなの代表？=カッコいい？のような感じでしょうか、その代表に自分からなりたいと立候補したんです！なかなか自分から代表の立候補なんてできるものではないですよ。

【自分の希望が叶っていく】それがこんな前向きになった姿を生じさせたのだと感じました。

そして結果は前会長を退けての初出馬、初当選でした！これには私たち職員もびっくりのできごとでした。

一学期始業式では、会長挨拶をしてアートでも表彰されています！



しらかば会会長になってから3ヶ月が経ち、なかなか染めることが出来なかった髪を染めることができました！いままでは染めようとしても勇気が出ず染めることができませんでしたが、職員の応援や会長になって自信を得たことで染めることができたのかなと思います。そんな勇気を私も見習いたいな！と思うとともに、これからもSさんの幸せを応援していきたいです。



特集

みんなちがって みんないいのだ!!! 明星学園

自分の幸せのことを幸せだと思っている人は、他者の幸せを尊重できるのです。
それは、知的障がいがあっても、無くても変わらない人生の真実です。

午前



仕事をする、
しないだって
自分で決めます。

夕食～就寝前

うーん、
やっぱり晩酌は
たまんない…



消灯時間は一応
決まっているけれど、
今晚は何して
起きていようかな？



お昼寝しても誰も
怒らないし、
起こしません。



昼食タイム

一緒に料理を
作る、食べる、
人の絆を育みます。



家族との面会



入所したって、もちろん
家族との絆が切れません。

旅行気分の
マイクロドライブ、
毎月一回
出かけます。

午後



月に一回は
外出に行きます。



カラオケだって、
散歩だって、
やる、やらないは
自分で決めます。



Y・Mさん(37才)



Before

上手に作る事が出来ない笑顔。5年前までは写真の顔はいつも片目ウイंकとピースでした。本人の笑顔のつもりでしたが…。

お母さんとの思い出(ツナコーンおにぎり)



以前勤めていた職員がステイパートナーとなり、外泊や面会など今でも繋がっていることがとても嬉しいんだ♪



一番大変な時に支えてくれた職員のこと大好きです。職員と月1回のちょこっとデート(料理&ドライブ)が楽しみ。



仲間を誘ってのハンバーグやパフェなどのパーティーをしているよ★みんな喜んでくれたかな。



After

心からの笑顔

T・Yさん(42才)

Before



お寺の長男だけど、お寺を継げない、できないづくしのTさん。笑うことが少なかった。髪型もいつも坊主頭でした。



お父さんが使っていた袷袋を着て、初めて金髪で念仏を唱えました！仲間の葬式や本命日で念仏を唱えています。

家族みんなで僕のやりたいことを応援してくれてうれしい！そばにはいることはできないけど、両親のことをいつも想っているんだ！



職員との料理は大好き！いろいろな料理にチャレンジしているよ！最近はお母さん直伝のレシピでけんちん汁を作っています！



金髪どう？カッコいいでしょ？！



After

目がとってもやさしくなりました！心からの笑顔です！

自閉症の方々は感情を素直に出すことがとても苦手です。写真撮影ではいつも決まった硬い表情になってしまったり…。しかし家族、家族のような職員、大好きな人、仲間など繋がりをたくさん感じられるようになって、自分の気持ちを応援されることで、メンバーさんたちは自分の安心した居場所ができ、心はさらに豊かになります。心からの笑顔はそんな豊かな心から生まれます。心からの笑顔をたくさん引き出せるようなお手伝いができるよう頑張っています。

こちら明星学園通リーディング

連載その17



「過剰な頑張りの中で生きる～良い子症候群」

明星学園・第二明星学園 総園長 宮下 智

明星学園には、「良い子症候群」と称している一連の行動があります。「本当はやりたくないと思っている行動なのに、＜過剰に＞頑張ってしまう行動」のことを示しています。

例えば、登校しぶりの小学1年生。昨日の夜は明るく元気に宿題も終え、明日の準備をしていたのに、翌日の朝になったら急にお腹が痛くなって、「学校に行きたくない」と言い出します。これにはお母さんもびっくり。でも、励まして学校に行かせれば、学校では朝、お腹が痛かったような素振りも見せません。そんな状況が何日も、時には何ヶ月か続きます。さすがに心配になって、学校の担任の先生に相談すると、「大丈夫ですよ。元気にやっていますから。学校に来てしまえば全く問題ありません」とのこと。ところが、そんなある日、断固として学校に行かなくなってしまいます。励ましても、ひきずって車で送ろうとしても暴れてしまって断固拒否です。

こんな時、お腹が痛くても学校へ行っていたのは、過剰に頑張っているという姿として捉えることができます。そして、お腹が痛くなったのは、過剰に頑張っている心に、いち早く身体が頑張り過ぎていよと送っていたサインだと言えるでしょう。学校に行きたくないと願っているお母さん、そして学校に来て欲しいと願っている担任の思いに応える形で、また学校とは、どんなことがあっても行くべきところだという社会的な常識に応える形で彼は学校に頑張っているのです。

実は、この「良い子症候群」の姿は、重度知的障がいの方々においても出現します。「まさかー」が世間の常識かもしれませんが、最近起こった、わかりやすいできごとから、その真実に迫ってみたいと思います。

A男さん、2週間ほど先にあるお花見ドライブへの参加を相談しました。マイクロバスに乗って1時間ほどのドライブをして、学園に戻り体育館でみんないっしょに個々に頼んだお好みのお弁当を食べるというイベントです。春の恒例の行事です。多くの人が



ちがマイクロドライブにも参加し、みんなでお弁当を一緒に食べることを楽しみにしています。

彼は、片言を話すことができる人ですが、こんな相談ごとの時には、○×カードを使います。彼は、マイクロドライブも体育館でお弁当も両方とも○、フルコースの参加を選びました。

が、翌日にお花見ドライブを控えた夜、彼は眠ることができません。バタバタと深夜まで廊下を行ったり来たり、ソワソワと落ち着きません。支援職員が対応に苦慮していると、彼は「さくら」「だめ」と叫んだのです。これでやっと彼のソワソワの原因がわかりました。もう一度○×カードで相談するとマイクロドライブは×、みんなでお弁当は○でした。この相談の後、彼はぐっすり眠ることができたのです。

本当は、行きたくなかったマイクロドライブ、でも「どうもみんなが行くらしい」「マイクロドライブに行くことは良い子がすることなんだな」「お弁当は食べるのにマイクロドライブに行かないのは変だよ」「お母さんもきっとみんなと一緒にマイクロドライブに行きたくて欲しいと思っているよね」…。こんな数々の思いが、彼の頭の中を支配していたのです。

B男さん、このところなんだか怒りっぽい日が続きます。「いつ頃から？」と調べると、どうも公園に遊びに行き滑り台やブランコに乗った日から？のようです。彼は片足が術後のリハビリ中で前のように十分に歩くことができません。居住棟の中では、まだ車椅子に乗っている姿を見かけます。そこで次の外出では、車椅子使用を徹底しました。彼が「歩く」と言っても「車椅子を使おう、甘えてもいいんだよ、頑張らなくても良いんだよ」と車椅子使用を押ししたのです。そして、車椅子使用の外出後、彼の怒りっぽさは消失したのでした。彼の頭の中は「頑張る人は良い子」なのでした。「甘える人は悪い子」だったのでした。

本当の気持ちを隠して、良い子で生き続けることは、自分らしい人生を生きることとは真逆のできごとです。たとえ、重度の知的障がいがあっても、本当の気持ちを伝えることのできるような環境＜みんながってみんないい＞を整えていきたいものです。

※写真はイメージです。記事との関連はありません。

輪・和・わ! インフォメーション

ヴィラそよ風に畑が!! ~Mさんの畑~



先日まで
そよ風の隣接の土地は、
ビニールハウスがあったり、柿
の木が植えられていたりしていたの
ですが、日常的には利用されていない状
態でしたので思い切ってリニューアルの整
地をしました。
整地してみたら思ったよりも土地が広いこ
と。これはもったいないと早速ニーズを確認
したところ、Mさんが「畑をやって採れ
たものはGHと明星学園の給食へ納めたい
」とのこと。今年の耕地面積は全
体の約1/4。さて、これから
が楽しみです。



2023年度(3月~6月)明星学園・第二明星学園 苦情・虐待に関する通報事案

①苦情

明星学園：0件 第二明星学園：2件

②人権侵害・虐待を疑わせる通報

明星学園：0件 第二明星学園：1件

第二明星学園の虐待通報については、市町村の聞き取り調査が行われ、園内虐待防止委員会が周辺関係者への聞き取り調査を実施しました。該当職員においては、すでに退職しています。

③園内取り組み

- ・虐待防止委員会検討：毎月1回定例会議
- ・虐待チェックリストによるチェックを全クラスにて実施
- ・権利擁護に関する研修の実施(職員全員参加)

♡♡♡結の街メール♡♡♡

寄贈

- 株式会社 中村様
トイレットペーパー 22箱(2112ロール)
- 飯田市社会福祉協議会様
アクリル毛糸 16玉

ありがとうございました。
心よりお礼申し上げます。



社会福祉法人 明 星 会

障害者支援施設

明星学園(生活介護事業)(施設入所支援事業)

第二明星学園(生活介護事業)(施設入所支援事業)

〒399-2561 飯田市駄科2250

TEL 0265-26-9456 FAX 0265-26-9094

ホームページ <https://www.myojo-gakuen.or.jp>

メールアドレス myojo-gakuen-iida@clock.ocn.ne.jp

明星保育園

〒395-0807 飯田市鼎切石3928

TEL 0265-24-8020 FAX 0265-24-8008

ホームページ www.myoujou-hoikuen.com

メールアドレス myoujou-408@juno.ocn.ne.jp

グループホーム

北方日の出ホーム

〒395-0151 飯田市北方61-7 TEL 0265-48-8070

北方のぞみハイツ

〒395-0151 飯田市北方68-7 TEL 0265-48-0885

ヴィラそよ風

〒395-0151 飯田市北方2139-5 TEL 0265-48-5016

みんな幸せになりたいあなたも私も